



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第19週（令和8年5月4日～令和8年5月10日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第19週は、医療機関の休業期間を含み、多くの定点把握疾患で報告数が減少しています。
- ・梅毒の報告が7件ありました。梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主に性的な接触により、口や性器等の粘膜や皮膚から感染します。感染部位にしこりができる等、様々な症状が出現します。一方で、無症状の場合もあり、知らずに誰かにうつす恐れがあります。感染のリスクを減らすために、避妊具（コンドーム）を正しく使用しましょう。梅毒は、早期に抗菌薬で治療すれば完治が可能です。症状が改善しても、自己判断で治療を中断しないことが重要です。また、妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがあります（先天梅毒）。県内の保健所等では、梅毒やエイズ等の性感染症の無料・匿名での検査を実施しています。詳細は、県内の保健所等へお問合せください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	266	246	4,688
細菌性赤痢	1	4	0	28
急性脳炎	1	10	3	155
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	11	10	186
侵襲性肺炎球菌感染症	2	50	64	1,128
梅毒	7	232	139	3,706
百日咳	1	112	85	2,651

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報

■ : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	47	0.39	0.89	2,170	0.59
インフルエンザ	14	0.11	0.54	1,500	0.41
急性呼吸器感染症	4,706	38.57	0.69	212,929	57.69
RSウイルス感染症	58	0.83	0.72	982	0.44
咽頭結膜熱	37	0.53	0.70	745	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	200	2.86	0.57	7,214	3.21
感染性胃腸炎	230	3.29	0.72	11,088	4.94
水痘	61	0.87	1.30	849	0.38
手足口病	93	1.33	1.16	858	0.38
伝染性紅斑	5	0.07	2.50	157	0.07
突発性発しん	35	0.50	1.03	742	0.33
ヘルパンギーナ	11	0.16	0.46	207	0.09
流行性耳下腺炎	3	0.04	0.75	95	0.04
急性出血性結膜炎	5	0.19	-	6	0.01
流行性角結膜炎	13	0.50	0.76	258	0.38
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	9	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	-	85	0.18
クラミジア肺炎	0	0.00	-	11	0.02
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	37	0.08